

登録コード	FS103500	開講年度	2026				
授業題目	産学連携特別講義				担当教員	村上 泰 他	
英文授業名	Special Course on Research & Development of Fiber/Textile Products in Industries				副担当	長尾 幸郎・奥村 航	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生	大学院修士課程・全専攻1年，2年生
講義室	繊維研棟ミーティングルーム1		授業形態	講義	備考	学部学生，博士課程学生等の聴講も歓迎します（単位はできません）	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	23FS加						
	【研究科共通】人類，社会の平和的・持続的発展のために，研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				繊維分野を中心に、社会で活躍されている方に講義をしていただくことで、幅広い見識と健全な倫理観を学んでもらいます。		
	26FS加・繊維学，23FS加						
	【研究科共通】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				環境調和社会、知識基盤社会を支える専門知識と実践的技術力が含まれた講義内容になっています。		
(2)授業の概要	繊維関連の産業界で活躍されている方々から、実際の研究開発の現場や国際的な繊維研究の状況を聞くことにより、繊維の特性や先端技術，将来必要とされる研究開発の方向性などについて理解が深まるものと考えている。その分野は、繊維産業および研究の国際的動向，高分子材料の先端技術、ナノファイバー，バイオ・環境素材，メディカル，自動車，ファッション，インテリア，スポーツウェア，ウェアラブルコンピューティング，ジオテキスタイル，テクニカルテキスタイルにわたり，それぞれの専門家から講義を聞くことで，繊維に関する広範な知識・応用分野について理解することを目標としている。また企業・大学など研究開発・技術開発の第一線に携わってこられた講師の実務経験談等を聞くことで，聴講する学生自身の将来の研究者像，技術者像についても考えらる機会としたい。						
(3)授業計画	金曜・3時限（13:10～14:40）に行います。 第1回 4月10日（金） 「イノベーション・ものづくり・繊維産業の今後について」 牛島 洋史氏・信州・学繊維学部特任教授 第2回 4月17日（金） 「アパレルのLCA・リバースサプライチェーンの取組みについて」 枝村 正芳氏・株式会社ワールド 第3回 4月24日（金） 「グローバルビジネスを実践するためのリーダーシップとビジネスモデルのつくり方」 熱田 二朗氏・株式会社フォーラムジャパン 第4回 5月 8日（金） 「最新の複合材料適動向とその実現化技術」 鶴澤 潔氏・金沢工業大学 第5回 5月15日（金） 「日本流イノベーションの創出」 阿部 晃一氏・株式会社KoA企画 第6回 5月22日（金） 「“アセトンで洗浄”に皮膚リスクはない？ 社会を支える化学防護服」 熊谷 慎介氏・アゼアス株式会社 第7回 5月29日（金） 「Diversity & Inclusion」 川上 結子 氏・日本アイ・ピー・エム株式会社 第8回 6月 5日（金） 「小さくても地方でできた、ナノファイバー技術を基盤とした研究開発型ものづくり」 渡邊 圭氏・株式会社ファフィアス 第9回 6月12日（金） 「スポーツアイテムにおける機能素材とサステナビリティ」 松本 竜文氏・株式会社アシックス 第10回 6月19日（金） 「AX（AI Transformation）・DXの動向、AX・DXによる社会・産業変革とは」 井出 昌浩氏・株式会社社会価値変革研究所 第11回 6月26日（金） 「紙から電池へ、ー抄紙プロセスの新しい展開ー」 兵頭 建二氏・TENTOK株式会社 第12回 7月 3日（金） 「世界を変える日本の伝統素材。世界最先端！日本のイノベーション」 稲木 孝至氏・合同会社ELEMUS 第13回 7月10日（金） 「繊維業界の将来像」 稲垣 貢哉氏・株式会社JAPAN TECH INNOVATORS 第14回 7月17日（金） 「ファッション産業とデジタル化技術」 森田 修史氏・クチュールデジタル株式会社 第15回 7月24日（金） 「社会課題を解決する“ミライ服”の研究開発と社会実装への挑戦」 鈴木 素氏・hap株式会社						
(4)成績評価の方法	講義についてのレポートを、講義終了後1週間以内に、eALPSに直接書き込み、提出してください。 添付ファイルは受け付けません。 提出されたレポートを各担当ゲスト講師が評価します。 各回の評価を総合して評価します。						
(5)成績評価の基準	毎回提出してもらった課題を踏まえた上で、理解度の確認を行う。 以上の結果から、達成目標の水準から見て以下の評価を行う。 < 評定については次の評価基準を基本としている > 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある						

(6)事前事後学習の内容	
(7)履修上の注意	対面あるいは同期オンラインで行いますが、繊維学部の学生は、原則、対面で講義を受講してください。
(8)質問,相談への対応	質問は講義中に各担当講師に行うか、eALPS上で質問コーナーを設けるので、そこに書き込んでください。
(9)授業の形式	本講義は、座長をおき、講演後の講師との質問・意見交換を活発におこなうことも一つの特色としています。講義の中で興味をもった事項について、積極的に質問し、理解を深めてください。 繊維学専攻の学生は、総研棟7階 ミーティングルーム1で受講してください。他キャンパスの学生は、Zoomを用いたオンライン受講とします。
(10)学生へのメッセージ	
【添付ファイル】	内容はWEB上から確認してください。
【教科書】	各回の講義資料は、eALPSを通じて配布します。
【参考書】	はじめて学ぶ繊維（信州大学繊維学部），日刊工業新聞社 ファイバー工学 ～原子から感性まで紡ぐ21世紀のせんい～，（白井汪芳，山浦和男編），丸善 繊維のふしぎと面白科学（山崎義一），ソフトバンククリエイティブ 繊維のスマート化技術大系-生活・産業・社会のイノベーションへ向けて-，（鞠谷雄士、平坂雅男 監修）、NTS